



# クイックスタート

## SnapCenter Plug-in for VMware vSphere 6.2

NetApp  
October 27, 2025

This PDF was generated from [https://docs.netapp.com/ja-jp/sc-plugin-vmware-vsphere/scpivs44\\_quick\\_start\\_overview.html](https://docs.netapp.com/ja-jp/sc-plugin-vmware-vsphere/scpivs44_quick_start_overview.html) on October 27, 2025. Always check [docs.netapp.com](https://docs.netapp.com) for the latest.

# 目次

クイックスタート .....	1
概要 .....	1
SnapCenter Plug-in for VMware vSphereの導入 .....	1
ストレージの追加 .....	3
バックアップポリシーの作成 .....	3
リソースグループの作成 .....	3

# クイックスタート

## 概要

このクイックスタートドキュメントには、SnapCenter Plug-in for VMware vSphere仮想アプライアンスを導入してSnapCenter Plug-in for VMware vSphereを有効にする手順がまとめられています。これらの手順は、SnapCenterをまだインストールしておらず、VMとデータストアのみを保護したいお客様を対象としています。

作業を開始する前に、を参照してください "導入の計画と要件"。

## SnapCenter Plug-in for VMware vSphereの導入

SnapCenterの機能を使用して仮想マシン上のVM、データストア、アプリケーションと整合性のあるデータベースを保護するには、SnapCenter Plug-in for VMware vSphereを導入する必要があります。ページには、"["Open Virtual Appliance \(OVA；オープン仮想アプライアンス\) のダウンロード"](#) OVAファイルをダウンロードする手順が記載されています。

1. VMware vCenter 7.0.3以降のバージョンの場合は、の手順に従って、"["Open Virtual Appliance \(OVA；オープン仮想アプライアンス\) のダウンロード"](#) 証明書をvCenterにインポートします。
2. ブラウザで、VMware vSphere vCenterに移動します。



IPv6アドレスのHTML Webクライアントの場合は、ChromeまたはFirefoxを使用する必要があります。

3. VMware vCenter Single Sign-Onページにログインします。
4. ナビゲーションペインで、データセンター、フォルダ、クラスタ、ホストなどの仮想マシンの有効な親オブジェクトであるインベントリオブジェクトを右クリックし、[OVFテンプレートの展開\*]を選択してVMware導入ウィザードを開始します。
5. [Select an OVF template\* (OVFテンプレートの選択)]ページで、ファイルの場所（次の表を参照）を指定し .ova、[\* Next (次へ) ]\*を選択します。

このウィザードのページ	操作
名前とフォルダを選択	VMまたはvAppの一意の名前を入力し、導入先を選択します。
リソースを選択	導入したVMテンプレートを実行するリソースを選択します。
詳細の確認	テンプレートの詳細を確認します .ova。
使用許諾契約書	[I accept all license agreements *] のチェックボックスをオンにします。
ストレージの選択	導入したOVFテンプレートのファイルの保存場所と保存方法を定義

このウィザードのページ	操作
ネットワークの選択	送信元ネットワークを選択し、宛先ネットワークにマッピングします。
テンプレートのカスタマイズ	<p>「既存の vCenter に登録」に vCenter クレデンシャルを入力します。Create SnapCenter Plug-in for VMware vSphere credentials * で、 SnapCenter Plug-in for VMware vSphere のクレデンシャルを入力します。</p> <p> 指定したユーザ名とパスワードをメモしておきます。SnapCenter Plug-in for VMware vSphereの設定をあとで変更する場合は、これらのクレデンシャルを使用する必要があります。</p> <p>[ネットワークプロパティの設定]セクションで、ネットワーク情報を入力します。[Setup Date and Time]*セクションで、vCenterが配置されているタイムゾーンを選択します。</p>
選択内容の確認	ページを確認し、*[終了]*を選択します。



すべてのホストにIPアドレスを設定する必要があります（FQDNホスト名はサポートされません）。導入処理では、導入前に入力した内容は検証されません。

6. SnapCenter Plug-in for VMware vSphereを導入したVMに移動し、[概要]\*タブを選択し、[電源オン]\*ボックスを選択してSnapCenter Plug-in for VMware vSphereを起動します。
7. SnapCenter Plug-in for VMware vSphereの電源投入時に、導入したSnapCenter Plug-in for VMware vSphereを右クリックし、[ゲストOS]\*を選択して[VMwareツールのインストール]\*を選択します。

導入が完了するまでに数分かかることがあります。SnapCenter Plug-in for VMware vSphereの電源がオノになると導入が成功したことが通知され、VMware Toolsがインストールされ、SnapCenter Plug-in for VMware vSphereへのログインを求める画面が表示されます。

画面にはSnapCenter Plug-in for VMware vSphereの導入先のIPアドレスが表示されます。IPアドレスをメモしておきます。SnapCenter Plug-in for VMware vSphere の設定を変更する場合は、SnapCenter Plug-in for VMware vSphere管理ユーザー インターフェイスにログインする必要があります。

8. デプロイメント ウィザードで指定した資格情報を使用して、デプロイメント画面に表示される IP アドレスでSnapCenter Plug-in for VMware vSphere管理ユーザー インターフェイスにログインし、ダッシュボードでSnapCenter Plug-in for VMware vSphereが vCenter に正常に接続され、有効になっていることを確認します。

フォーマットを使用する `https://<appliance-IP-address>:8080` 管理ユーザー インターフェイスにアクセスします。

導入時に設定したadminユーザ名とパスワード、およびメンテナンスコンソールを使用して生成されたMFAトークンを使用してログインします。

9. vCenter HTML5クライアントにログインし、ツールバーの\*を選択し、[VMware vSphere用SnapCenterプラグイン]\*を選択します。

## ストレージの追加

ストレージを追加するには、このセクションの手順を実行します。

1. SCVプラグインの左側のナビゲータペインで、**[Storage Systems]**\*を選択し、**[Add]**\*オプションを選択します。
2. [ストレージシステムの追加]ダイアログボックスで、SVMまたはクラスタの基本情報を入力し、\*[追加]\*を選択します。

## バックアップポリシーの作成

バックアップポリシーを作成するには、次の手順に従います。

1. SCVプラグインの左側のナビゲータペインで、**[Policies]**\*を選択し、**[New Policy]**\*を選択します。
2. ページで、ポリシーの設定情報を入力し、**[追加]**\*を選択します。

## リソースグループの作成

リソースグループを作成するには、次の手順を実行します。

1. SCVプラグインの左側のナビゲーションペインで、**[リソースグループ]**\*を選択し、**[作成]**\*を選択します。
2. [Create Resource Group] ウィザードの各ページで必要な情報を入力し、リソースグループに含めるVMとデータストアを選択してから、リソースグループに適用するバックアップポリシーを選択します。リモートのセカンダリ保護の詳細を追加し、バックアップスケジュールを指定します。

バックアップは、リソースグループに対して設定されているバックアップポリシーの指定に従って実行されます。

オンデマンドでバックアップを実行するには、**[リソースグループ]**\*ページで**[今すぐ実行]**\*を選択し  ます。

## 著作権に関する情報

Copyright © 2025 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S.このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を隨時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5225.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および / または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用権を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用権については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

## 商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。